



## 先祖を尊ぶ

# 伝承されるお盆行事

お盆は正しくは、盂蘭盆会（うらぼんえ）と言い、遠い昔の人々は、神や祖霊を招き寄せ、その目じるしが必要だと考えました。その目じるしとして、にかほ市内の集落では、迎え火などの行事が行われています。

### にかほ市で行われているお盆行事

◆迎え火（精霊だち）、送り火 行事を行う日は、集落によって違います。

象潟地域では、主に海水浴場に小学生が主体となって、稲ワラで町内単位の盆小屋を建てます。ワラ集めに各家々を回るときは、「麦ワラ灯明思いで（次第）」と唱えます。

盆小屋には祭壇が設けられ、8月12日の夕方、地区ごとの盆小屋に人々が押みに来ると、子



精霊だちの盆舟



盆小屋（象潟海水浴場）

どもたちは盆小屋のそばで火をたき、「ジイだ、パンバーだ、この火の明かりに来とうね、来とうね」と唱え、先祖の霊を迎えます。15日の夜は、その小屋を燃やして「えとうね、えとうね（お帰りのさい）」と唱えます。また、仁賀保地域では、精霊だちという迎え火が行われます。集落によっては、8月6日から7日に行われています。いずれも墓前や村辻に火をたき、稲ワラの松明を作り墓前にかざして「精霊だち精霊だちこの火の灯りでキトーネ、キトーネ」と唱え先祖を迎えます。そして、「送り火」は15日から16日に行われます。

#### ◆盆棚飾り

仏壇の前に盆棚を飾り、ご先祖に迎え膳を朝、昼、晩と三度精進料理の食事を供えます。

#### ◆ガツキ（ガツギ）馬

初棚を迎えた家では、着飾った「ガツキ馬」を新盆の目じるしとして表に出します。

#### ◆盆踊り

夏の風物詩として親しまれている盆踊りも、お盆にお迎えしたご先祖や亡き人の霊をなぐさめ、豊年のために踊るとされています。

## 象潟中学校建設

シリーズ③

# 利用しやすく特徴ある校舎を建設

今回は、いよいよ校舎についてご紹介します。その前に、前号で紹介できなかった武道場について説明します。

武道場は、柔道2面、剣道3面が使用できる広さです。体育館と隣り合わせで、体育館ステーション部が武道場からも使用できる構造になっています。もちろん

暖房も完備されています。校舎は、普通教室12教室のほか、理科室、美術室、技術室、家庭科室、音楽室、視聴覚室、コンピュータールームなど、今までと同様の特別教室が配置されています。建設される校舎には、特徴的な個所があります。それは多目的ホールです。通常はランチルームとして使用することにして

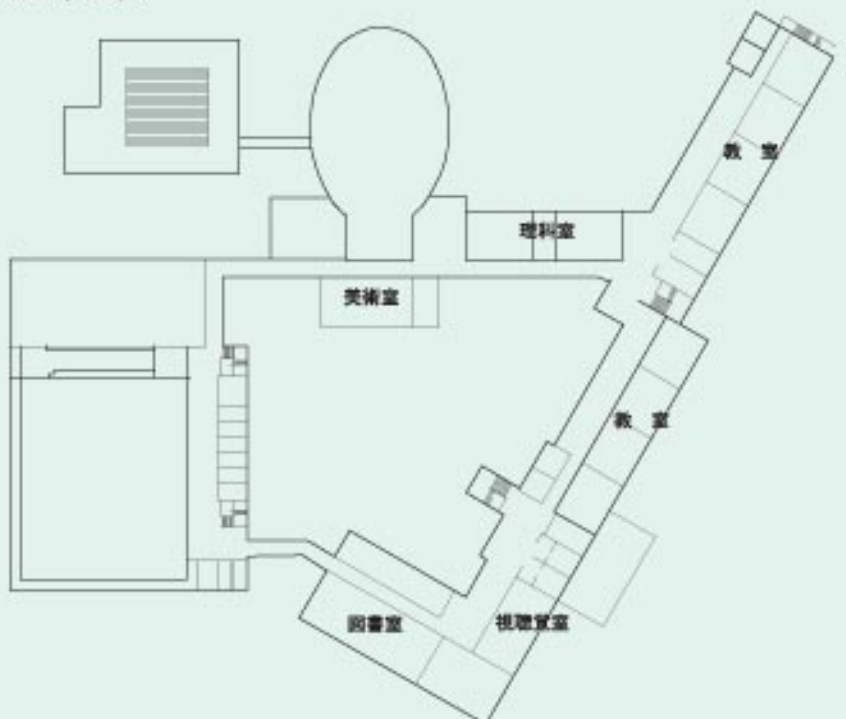
いますが、生徒会全体会議や小講演会、ミニ演奏会などにも使用できるようになっています。ホールのステージ部として、音楽室が利用できる工夫が盛り込まれています。これは現在のところ他校にはないスペースです。校舎南側には緑の空間があり、校舎中央部にも生徒が自由に利用できるスペース「中央プラザ」が作られます。

校舎全体の特徴として、広いスペースを生かした、ゆとりある校舎に計画されています。

1階平面図



2階平面図



体育館等の建設は順調に進んでいます